

小国町へのアクセス



九州自動車道・熊本インターから
国道57号線を阿蘇方面へ、
阿蘇市から212号線を北へ約40分

大分自動車道・日田インターから
国道212号線を阿蘇方面へ約1時間

大分自動車道・九重インターから
国道387号線を阿蘇方面へ約40分

九州新幹線ルート

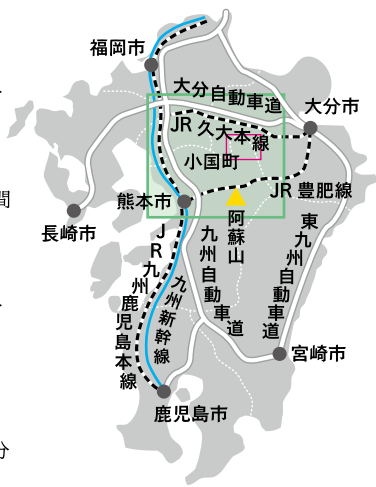
博多から熊本まで 約35分

鹿児島中央から熊本まで 約45分

観光案内所

小国町役場	0967-46-2111
小国ツーリズム協会	0967-46-4440
杖立温泉観光協会	0967-48-0206
わいた温泉組合	0967-48-5277
(一財)学びやの里(木魂館)	0967-46-5560

発行：小国町役場



このリーフレットは、2010年度
グッドデザイン賞を受賞しました。



小国町観光ガイド



小国町観光ゆるキャラ
「おぐたん」

自然を楽しむ

鍋ヶ滝は高さ10m巾20mの滝です。滝の裏手に道が延びており、裏側から滝を鑑賞することができます。落ちてくる水のカーテンの合間から見える緑の木々と木漏れ日が森林浴の癒しを誘います。約9万年前の巨大噴火でできたとされる鍋ヶ滝は、長い年月をかけて現在の形になりました。滝上部の固い岩盤や滝裏のやわらかい地層は、今も浸食等を繰り返し、少しずつ形を変えています。

遊水峡は、筑後川の源流に位置する峡谷です。阿蘇カルデラ北方の小河川にみられる岩盤河床で、阿蘇火砕流堆積物の溶結凝灰岩で構成されています。大小いくつもの滝と豊富な湧水に恵まれています。年間を通して四季折々の美しさを楽しむことができます。杖立川支流、縦木川に懸かる下城滝は、落差約40mの断崖絶壁を一気に流れ落ちる豪快な滝です。下城大イチョウのすぐ側から見ることができます。下城大イチョウは樹齢1,000年以上の国指定天然記念物です。枝から多数のこぶが下がり、その形が女性の乳房のようになっていることから、昔から「ちちこぶさん」と親しみを込めた名前と呼ばれています。乳の出が少ない女性は、この樹に祈ると乳が出るようになると言われていました。

旧国鉄宮原線跡地を利用した遊歩道 幸野川橋周回コースでは、廃線跡のトンネルやアーチ橋が当時のまま残されており、当時の雰囲気を楽しむことができます。自然の中で草花を探しながら、野鳥のさえずりに耳を澄まして歩くのも、廃線ウォークの醍醐味です。鉄筋の代わりに竹筋で組まれた幸野川橋梁（竹筋橋）など見物が多くあります。



幸野川橋梁

大木や古木に囲まれた、銚納宮の本殿前には、競い合うかのように並び立つ二本の巨杉夫婦杉があります。推定樹齢700年。小国町の天然記念物に指定されています。その他、境内には、同じく小国町指定天然記念物のケヤキも立っています。



下城滝



阿弥陀杉



下城の大イチョウ

鍋ヶ滝



より正確な位置については、裏面の地図をご覧ください。


歴史にふれる

小国町の基幹産業は農林業です。農業の中でも小国ジャージー牛乳の生産は60年の歴史があります。昭和32年にジャージー牛98頭をオーストラリアから導入。現在は約1,200頭を飼育するまでになりました。この濃厚で栄養価の高い牛乳は、ヨーグルトやソフトクリームなどにも使われており、各地より人気を集めています。小国林業の歴史は1750年代まで遡ります。肥後藩令により各戸25本の杉の挿し木を行ったことが始まりです。現在は町の面積の78%を山林が占めています。小国杉は色合いがよく、その香りや手触りが体内の免疫力を活性化させることから、体にやさしい建築材として柱材や板材などに使われています。



小国町は医学界の泰斗北里柴三郎の故郷です。北里柴三郎記念館には北里柴三郎の生家がたたえられています。また、彼が64歳（大正5年）の時、「郷里の青少年のために」と私財を投じて設立した図書館北里文庫や、帰省の際に居宅とし、訪れた賓客をもてなした貴賓館などもあります。現在は、遺品などが常設展示されています。



 北里柴三郎記念館



 鏡ヶ池

杖立温泉の背戸屋



小国両神社

鏡ヶ池は、小国両神社の参道沿いの一番街から狭い路地に入ったところにある清冽な泉です。その昔、醍醐天皇の孫姫小松女院が愛しい人との再会を願い、11人の侍女とともに鏡を投げ入れたと言われています。今では恋する女性がコインを投げ入れ、愛しい人との再会を願うようになりました。この鏡ヶ池に祭られた恵比寿様、小国両神社、同じく参道沿いにあるけやき水源の水神様の三社（福運三社）にお参りすると宝くじがあたると言われています。背戸屋とは、家々の勝手口を結ぶ地元の人たちの生活道路です。昭和の風情が残る杖立温泉街の背戸屋をみちくさ案内人の話を聞きながら歩く「背戸屋めぐり」では、単なる観光では味わうことの出来ない、杖立温泉の魅力を肌で感じる事が出来ます。



けやき水源



より正確な位置については、裏面の地図をご覧ください。

建築／アートを楽しむ

小国町は、特産の小国杉を地域デザインのテーマとしており、公共施設を中心に、小国杉の特性可能性を生かした建築物の建設を行っています。

特産物の販売や地域の情報を紹介する道の駅「小国」ゆうステーション、森林組合の事務所を兼ね林業と木材の全てが分かる施設林業総合センター、そして、スポーツのほかコンサートなどのイベントにも使用される体育館小国ドームの3施設は、建築デザイナー葉祥栄氏の設計で新しく開発した木造立体トラス構法により建設されました。小国ドームの木造立体トラス構法の天井空間は、日本最大級として全国から注目を集めています。

この他にも、小国杉を使用した木造建築が多く見られます。

研修宿泊施設の木魂館は、小国の伝統構法「置屋根」をヒントに「ボックス梁」という新しい構法で建てられました。その隣には食と健康の交流館北里バランがあります。一階では、地元で採れた食材をふんだんに使った食事が楽しめ、地階は、天然温泉のお風呂でリラックスできます。

地場の特産品をフルに活用した、JA直営の物産館びらみっとは、中心街を見下ろす高台に位置し食事や乳製品加工の見学ができます。旧西里小学校も特徴的です。中心の多目的ホールに教室が集まった、寄り合いの形をしています。小国町隣保館は、住民の身近な生活相談、人権啓発の拠点となっています。その隣にある小国町商工会館は地域商店街振興のための最先端機関です。木造の持つ直角イメージを一新したユニークな形をしています。森林保全管理センターは、小国の豊富な森林を守り、育て、保水など公益的な森林の機能をPRする施設となっています。あみだ杉の館は、平成12年まで肥後銀行小国支店として利用されていました。銀行移転後は、阿弥陀杉のモニュメントホールとして図書室や学習室に使われています。ホール中央の常設展示モニュメントは、平成11年の台風18号で倒れた黒淵の阿弥陀杉の一部を使った、彫刻家豊福知徳氏によるものです。

「東洋の寡黙」などとして知られる小国町出身の画伯坂本善三を記念して、坂本善三美術館が開館されました。古い民家を移築した本館を含む、全館畳敷きの美術館は日本唯一となっています。





道の駅「小国」
ゆうステーション




小国ドーム




あみだ杉の館






木魂館



旧西里小学校




物産館びらみっと


坂本善三美術館



より正確な位置については、裏面の地図をご覧ください。

体験する / 学ぶ

小国町では沢山の祭りが催されます。杖立温泉どんどこや火祭り(1月14日)は無病息災や家内安全を祈願する杖立温泉の火祭りです。神事では、参拝者に温泉の湯をかける「湯かけ神事」が行われます。他にも、川幅いっぱいには約3,500匹の鯉が風に泳ぐ杖立温泉鯉のぼり祭り(4月1日~5月6日)や、役者揃いの杖立住人が稽古を重ねて伝承芝居を熱演する杖立温泉祭(5月27日~5月28日)があります。春には期間限定で、滝をライトアップするイベント鍋ヶ滝ライトアップが開催されます。わいた温泉ほたる祭り(6月上旬)では、竹灯笼を並べて穏やかな雰囲気の中でホタルを鑑賞します。ふるさとの秋祭り(10月中旬)は小国町最大の祭りです。多くの町民が参加し、観客が観て食べて体験して楽しむことのできる賑わいのある祭りとなっています。秋には下城大イチョウライトアップ(10月中旬~11月上旬)も行われ、また、下城の大イチョウの木の下では毎年ちちこぶ祭(11月上旬)が開かれます。わいた温泉感謝祭(10月26日)では、温泉への感謝の気持ちを込めて、来客者へ地元の食材を使ったふるまいが行われます。坂本善三美術館周辺で開催される地域イベントとして、ほっぼ宝来祭(10月下旬)が開催され、地元で採れた新鮮な農産物の販売や手作りバザーがあります。小国町には、学びの場もあります。小学生や幼児を対象にした九州山の自然学校『おぐに自然学校』、北九州市の中学生を中心に小国町内の農家に宿泊し、農作業や暮らしを体験する『うるるん体験』を行っています。また、移住定住や地域おこし、自然エネルギーについて学ぶ『ムラの暮らし研究所』の講座も開催しています。

イベントスケジュール

1月	杖立温泉どんどこや火祭り	
4月	鍋ヶ滝ライトアップ	
	杖立温泉鯉のぼり祭り	
5月	杖立温泉祭	
	わいた山山開き	
6月	わいた温泉ほたる祭り	
10月	ふるさとの秋まつり	
	下城大イチョウライトアップ	
	ほっぼ宝来祭	
	わいた温泉感謝祭	
11月	ちちこぶ祭	



温泉でくつろぐ

特産品を楽しむ



小国町特産のジャージー牛乳と温泉の蒸気を活かした個性豊かな「プリン」。各旅館や飲食店それぞれが工夫を凝らしたオリジナルの味を楽しむことができます。

杖立温泉には1800年もの開湯の歴史があるといわれており、その由来には杖をついて訪れた人がお湯に浸かって帰る時には杖を忘れて帰るほど健康になったなどの言い伝えがあります。古くから湯治場として親しまれてきた町並みは昔ながらの温泉街の風情が残されています。温泉は、無色透明のきれいな温泉です。弱食塩泉で肌触りがやさしく、保湿効果が高いため、美肌の湯として効果が高いといわれています。源

杖立温泉



源泉かけ流しの家族湯は岩風呂、ひのき風呂、石切風呂など種類も様々。

わいた温泉郷には特徴ある温泉が沢山あります。はげの湯温泉は、標高760mの位置にあり、わいた山の西麓に沸く高原の温泉です。各旅館からの眺望は素晴らしく、阿蘇の大自然が堪能できます。岳の湯温泉は、わいた山の麓にある温泉地で至る所から蒸気が噴出しています。この天然の蒸気は、暖房や地元料理に利用されています。山川温泉の泉質は、硫黄泉で温泉が白濁して、湯の中に沈殿物(湯の華)が出ます。そ

わいた温泉郷

小国町には小国杉やジャージー牛を代表とする、その地理的条件や気候風土に適した特産品が数多くあります。



ジャージー牛乳は、乳脂率が高く、自然な甘み・豊かな風味ともに優れ、栄養価の高い牛乳です。ジャージー牛乳を使用しているヨーグルトはまったりとした口あたりと濃厚な味わいで大人気の商品となっています。



熊本県産豚肉のみを原料にし、つなぎにでん粉やコーンスターチなどを一切使用しないオールポークにこだわった、本格派手作りハム・ソーセージです。



阿蘇北部に位置する小国町は標高が高く、昼夜の温度差があることから高品質で栄養価の高い野菜が作られています。

阿蘇の草原で放牧し、飼料に梅酢を加えて育てた健康な黒豚肉を使用した旨味たっぷりのジューシーなハンバーグが人気。ドライカレーやメンチカツなどのギフトセットもあります。



小国町は筑後川の最上流域であり、その豊かな水によって小国町のお米は育まれています。



わいた温泉郷では24時間利用できるコインタイマー式貸切風呂が人気を集めています。

の他にも地獄谷温泉や麻生釣温泉、鈴ヶ谷温泉などがあります。また、日帰り温泉施設ゆけむり茶屋では天然温泉と郷土料理を楽しむことができ、お土産を買うこともできます。わいた温泉郷の各旅館の案内もしています。



温泉の蒸気を利用した「蒸し場」ではお芋や卵、野菜を自由に蒸すことができます。

泉は約98度もあり、温泉の蒸気を利用した蒸し湯が古くから利用されています。通常のサウナに比べて温度が低く、湿度が高いため、体に負担がかからず、楽に入ることが出来ます。



自噴する高温の蒸気は調理や暖房に利用され地域の人々の暮らしに欠かせないものとなっています。



杖立川の下流にかかる「もみじ橋」では小国杉で作られた、たくさんの「絵鯉」を見ることができます。



メタケ酸(天然の保湿成分)が豊富に含まれているお湯は「トロリ」としたためからでやさしい肌触りが特徴。

